

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい 書写
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、観察カードのまとめ方の例にトマト、あり、ザリガニを挙げ生命の尊さに触れられる教材が配置されている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「教育を受けるものの心身の発達に応じて」に関連して、相手意識を持って読みやすく書くことを重視し、相手を思いやる気持ちを大事にすることが示されている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、学習の課題を発見する「調べよう」や書き方のポイントを確かめる「確かめよう」、応用する力を育てる「広げよう」が設けられている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる」ことに関連して、各学年の表紙裏面の「身の回りの文字をさがそう」でさまざまな文字の写真が掲載されている。
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、毛筆では「思いやり」（6年）「ふれあい」（6年）「手話」（4年）が教材として示されている。 <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、農業協同組合へのインタビューで米作りの手順が教材として示されている。
内 容			<input type="checkbox"/> さらに学習を広げたい児童のために、毛筆教材の左端に示したインデックスで個別の課題に対応できるようにされている。 <input type="checkbox"/> 伝統的、文化的な文章を味わうことができるように、各学年で、童謡や古文・漢文などの文章を「なぞり書き」できる教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 高学年では「生活に広げよう」を巻末にまとめて、1年間の行事に合わせて場面を設定し、体験活動や他教科との関連を図り、書写で学習したことを生活の中に生かす教材が設けられている。 <input type="checkbox"/> 3年生以上では、書き初めの歴史が記載されている。 <input type="checkbox"/> 神奈川県に関することとして、4年生の表紙裏には、相模原市の「大だこまつり」の写真が掲載されている。また6年生の裏表紙の裏には平塚市の「七夕祭り」の写真が掲載されている。
構 成 分 量 装 丁			<input type="checkbox"/> 教材は「練習」「生活に広げよう」「まとめ」「付録」の4つで構成されている。 <input type="checkbox"/> 判型はA B判である。 <input type="checkbox"/> 裏表紙に、「再生紙・植物油インキを使用しています」と表示されている。
表記・表現			<input type="checkbox"/> 硬筆の学習では、学校での学習や家庭生活に関連した文章が、教材として設定されている。 <input type="checkbox"/> 書く時の姿勢を表すのに「足ぺた ぴん とん」と擬音語が使われている。 <input type="checkbox"/> 学習後に、児童自らが自己評価を行い、その結果を記号で記す欄が設けられている。

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	学 図	書 名	みんなと学ぶ 小学校書写
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、「思いやり」（6年）「実りの秋」（6年）などの言葉が教材として示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して」に関連して、毛筆学習のあとに「硬筆に生かそう」があり、学んだことを日常生活に生かすよう示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、練習用紙を自作できるようにして自らの課題にあわせ活動ができる教材が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる」ことに関連して、4年生では、封筒の宛名書きでは、文字の大きさに違いがあることが示されている。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関係</p>	<p><input type="checkbox"/>「たくましく生きる力」に関連して、書き初めの教材で「大切な命」（5年）「夢の実現」（6年）が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、6年の「ポスターで伝えよう」の用例で、社会に貢献できる教材を示している。</p>		
<p>内 容</p>	<p><input type="checkbox"/>しんじょうや結び等のむずかしい筆づかいを筆先の連続写真が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>4年では「二分之一 成人式」や夏休みの自由研究の例などを取り上げて、体験活動との関連が持てる用例を掲載し、獲得した技能を、学習の場、生活の場において用いることができ、実感の伴う教材が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>毛筆の教材として提示されている文言は、「希望」（4年）「あこがれ」（5年）「夢」（6年）など、明るく希望に満ちたものを挙げ、コミュニケーションツールとしての「文字」を認識し、伝え合うために必要な技術を身につけられる文字が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>巻末折込の漢字一覧の教材が、硬筆と毛筆の両方で示されていて、硬筆・毛筆ともに同一の書き手による教材が掲載されている。また、硬筆の漢字には全てに筆順を記す配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/>線の交わり方や接し方を拡大した教材が掲載されている。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p><input type="checkbox"/>見開き2ページを使って、半紙大の毛筆の教材が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>低学年では姿勢や鉛筆の持ち方から自己評価欄に「できたかなシール」を貼って定着を図る教材が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>裏表紙に「地球環境に配慮して製造した紙と植物油インクを使用しています。」と表記されている。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p><input type="checkbox"/>キャラクターや吹き出しを用いて学習のポイントが示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>硬筆の模範例は、学習者が書きやすい鉛筆風の字体で示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習後に学習者が自己評価を行い、結果を記入する欄が設けられている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	三省堂	書名	小学生の書写
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「幅広い知識を身に付け、真理を求める態度を養うこと」に関連して、6年では文字の長い歴史について学ぶ「文字の由来」の資料が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、高学年の「学習を生かそう」では、教科書に書きこむ活動を取り入れている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得」に関連して、各学年のそれぞれの段階に応じた書写の学習が行えるように単元のはじめに、見出しとして目標が示されている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める」ことに関連して「ひろげよう」では、相手意識を持った書き方の表現が示されている。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、宇宙飛行士、野口聡一氏の『宇宙時代を生きる』より「新しい場所には、きっと新しい出会いや発見がある。」という言葉が教材として示されている。 <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、米作りについて秋田県の農協に手紙を書いて教えてもらったことが「便せんとはがきの書き方」を通して示されている。		
内 容	<input type="checkbox"/> 各学年の「ひろげよう」のページで「ポスターを書こう」（6年）「レポートを書こう」（5年）「手紙を書こう」（4年）という教材が学年に応じて示されている。 <input type="checkbox"/> 6年では役割を分担してそれぞれの書写技能で取り組む「寄せ書き」の教材が設けられている。 <input type="checkbox"/> 他教科の学習活動や日常生活で使用される「横書き」等の書字場面を取り上げた教材が設けられている。 <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関連して、巻頭折り込みに、百人一首や絵巻物、木の札に書いた手紙などの資料が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 6年では発展として「行書」が示されている。		
構 成 分 量 装 丁	<input type="checkbox"/> 「書き初め」が全学年で取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 毛筆教材と共に硬筆で書いて確かめるコーナーが設けられている。 <input type="checkbox"/> 裏表紙に「環境にやさしい用紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている。		
表記・表現	<input type="checkbox"/> 運筆が朱墨の濃淡で示されている。 <input type="checkbox"/> 毛筆の穂先の向きが時計を使って示されている。 <input type="checkbox"/> 学習後に児童が互いに評価を行う欄が設けられている。		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	教出	書名	小学書写
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことに関連して、竹取物語や枕草子、短歌や俳句が教材として示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「体系的な教育が組織的に行われなければならない」ことに関連して、各学年の巻末の「はってん」では次年度に学ぶ文字を紹介し、学びのつながりが示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させる」ことに関連して、各学年の「書いて伝えよう」では、書写で学習したことを生活や授業の中で使う用例が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」ことに関連して、巻頭では「文字の旅」（6年）、「世界のこんにちは」（5年）などで国語に対する関心を高めようとする教材が取り上げられている。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>	<p><input type="checkbox"/>「たくましく生きる力」に関連して、6年では司馬遼太郎氏『二十一世紀に生きる君たちへ』から「君たちのしっかりした自己が、科学と技術を支配し、よい方向に持って行ってほしい」という言葉が教材として示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会にかかわる力」に関連して、5年ではノートのとめ方の教材として「米作りの工夫と努力」が示されている。</p>		
<p>内 容</p>	<p><input type="checkbox"/>1年巻末折り込みには「しよしゃたいそう」が設けられ、体全体を使って習得できる教材が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>自社の国語と関連した『おおきなかぶ』（1年）『ごんぎつね』（4年）『枕草子』（6年）などが同学年で取り上げられ、硬筆教材として配置されている。</p> <p><input type="checkbox"/>他教科の学習活動や日常生活で使用される「横書き」を発達の段階に応じて、各学年で取り上げている。</p> <p><input type="checkbox"/>「穂先の通り道」が明解でわかりやすいよう、朱墨と薄墨を使った図版を、拡充して掲載している。</p> <p><input type="checkbox"/>「筆記用具とらのまき」では、目的に合った筆記用具と用紙選んで学習できるように設けられている。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p><input type="checkbox"/>各学年の裏表紙に「鉛筆の持ち方」「手のおき方」（1、2年）「筆の持ち方」（3、4、5、6年）の写真が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>巻末折り込みには、漢字一覧に加え、「漢字の成り立ち」（6年）「筆順のきまり」（6年）が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>裏表紙に「環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている</p>		
<p>表記・表現</p>	<p><input type="checkbox"/>筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>筆圧の指導において、力の入れ方を「ちゅん」「とっ」「とん」といった擬音語とイラストで示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「考えよう」「ここが大切」「生かそう」がマークで示されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	光村	書名	書写
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に関連して、「原こうようしに書くとき」、「新聞の書き方の工夫」（6年）では、自ら調べて得た情報を発信する教材が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、5・6年の目次のページに「学習の見通しをもとう」が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させる」ことに関連して、各学年の「資料」では、手紙やはがき、新聞の書き方などの事項がまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、4年の「もっと知りたい」のコーナーでは、紙・すみ・すずりができるまでの写真を掲載し工程が紹介されている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p><input type="checkbox"/>「思いやる心」に関連して、6年の「バリアフリー新聞」ではノンステップバスやバリアフリースイッチなど、安心して暮らせる仕組みが示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、5年ではノートのまとめ方の教材として社会との関わりのなかで必要となる「尊敬語と謙譲語」が示されている。</p>		
内 容	<p><input type="checkbox"/>1年生の「えんぴつのもちかた」では、鉛筆の持ち方から指導が示されている。4年生の文字の組み立ての学習では、点画模型のシールを貼るよう設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単元の導入時に、好ましい例とそうでないものを比較させることで気づきを促す教材が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>6年生のはがきの書き方には、今までの学習を生かして書く、絵ハガキやエアメールの書き方も示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>3年生以上の巻末の「しりょう」には、配当漢字を用いて「字形の整え方」が示され、自主的な活動ができるように、教材に対応した原寸大の書き初め教材（半紙・書き初め用紙の両方）が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>各学年の巻頭に、図や写真を活用して姿勢や筆記用具の持ち方が示されている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p><input type="checkbox"/>4年生の文字の組み立ての学習では、点画模型のシールを貼るよう設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>3年生以上の巻末「書きぞめ」の教材は4ページ分を使用し、文字数の違う名前の書き方や小筆の持ち方、執筆姿勢の写真などが掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>裏表紙に「この教科書は環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p><input type="checkbox"/>運筆が墨の濃淡で示され、更に、筆先の向きや筆圧が分かるよう筆先の絵も付随して描かれている。</p> <p><input type="checkbox"/>文字の入門期の指導では、指を使ってなぞれるよう、太い線と大きな文字で模範の文字が書かれている。</p> <p><input type="checkbox"/>「たいせつ」マークで学習のポイントが示されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（書写）】

発行者の略称	日 文	書 名	小学書写
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>□教育基本法第2条に示されている「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」に関連して、5年の「世界の文字でありがとう」の教材では英語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、書写の基礎・基本を学習できるように、学習の過程を示し、教材が取り扱われている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させる」ことに関連して、毛筆の基本的な筆使いでは、筆の通り道を墨の濃淡と実際の筆の写真を併用して説明がされている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、3年以上の巻末のまとめでは、古典を題材にした硬筆教材が掲載されている。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>□「たくましく生きる力」に関連して、水や電気、ガスの節約への取組が取り上げられている。また、3年の書きぞめの教材として「生きる力」が示されている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、5年の消防署見学後、疑問として出てきたことを尋ねるために「お願いの手紙の書き方」を示している。その中で言葉遣いにも気をつけるよう注意が促されている。</p>
内 容			<p>□2・4・6年生の巻末には、次の学年の学習に興味を持てるような「チャレンジ！」コーナーがある。</p> <p>□4年以上の各単元初めには「ここがポイント」で学習活動の見通しが示され、自主的な活動ができるように設定されている。</p> <p>□「広がる学び」のコーナーでは、日常生活や他教科につながる実用的な書式がそれぞれの学年の発達段階に応じて「絵日記」（1年）「学級新聞」（4年）「卒業作品」（6年）などの教材が設けられている。</p> <p>□5・6年生では、単元に入る前に「学習の進め方」が示してある。</p> <p>□3年以上の「なるほど書写教室」で毛筆を生かした硬筆学習ができ、自主的な活動ができるようにチェック欄が設けられている。</p>
構 成 分量 装 丁			<p>□各学年にある「できたかな？」のコーナーでは、学習をふり返り自分でチェックするようになっている。</p> <p>□巻末折り込みに各学年で学習する漢字が示され、全ての筆順が1文字最高6段階で示されている。</p> <p>□裏表紙に「植物油インキと再生紙を使用しています。」と表示されている。</p>
表記・表現			<p>□低学年では、姿勢や持ち方の写真が多く掲載されている。</p> <p>□全学年で同じキャラクターが登場し、呼びかけるような表現で学習のポイントを説明している。</p> <p>□運筆は、2色の墨で示されている。</p>

《資料Ⅱ》
教科種目名【国語（書写）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	
東書	幅広い知識と教養を身に付けるため、他教科の学習に関連した教材が示されている。
学図	手本文字として示した言葉などから、豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮されている。
三省堂	文字の長い歴史について学ぶ「文字の由来」の資料が掲載されている。
教出	幅広い知識と教養を身に付けるために、「知りたい文字の世界」という教材が示されている。
光村	豊かな情操と道徳心を培うために、書き初めで「感謝」が取り上げられている。
日文	幅広い知識と教養を身に付けるために、本やインターネットなどの調べる手段が示されている。
二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	
東書	勤労を重んじる態度を養うために「消ぼう新聞」として、消防士の活動に触れる教材が示されている。
学図	低学年では自主的な学びを養うために、「できたらシールをはろう」が付けられている。
三省堂	各教材の終わりに、学習の振り返りのための「たしかめよう」「確かめ合おう」が設けられている。
教出	勤労を重んずる態度を養うために、工場見学で聞いた話をまとめる教材が示されている。
光村	「夢に向かって」において、自分の思いを言葉で残す教材が示されている。
日文	「けん玉のつくり方をせつめいする文を書こう」において、相手意識を持たせた自主及び自律の精神を養うための教材が示されている。
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	書く姿勢の写真は男女の児童が掲載されている。
学図	「美しい心」「思いやり」などの言葉が手本として示されている。
三省堂	「時間を大切に」「みんなで助け合おう」などの言葉が手本として示されている。
教出	「かいてつたえよう」においては、友達の良いところや感謝の気持ちを書いて伝える教材が示されている。
光村	「原こうようしに書くとき」「新聞の書き方の工夫」では、自ら調べて得た情報を発信する教材が設けられている。
日文	「じぶんのことをしらせよう」では、友達と仲良くなるために自分のことを書いて伝える教材が示されている。
四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	
東書	観察カードへのまとめ方の例に、ミニトマト、あり、ザリガニを挙げ生命の尊さに触れられる教材が設けられている。
学図	「大切な命」「思いやり」「実りの秋」などの言葉が教材として示されている。
三省堂	「ポスターを書こう」において、「落ち葉清そうのお知らせ」「緑を大切に」が例示されている。
教出	「用紙全体のまとめ方」において、リサイクルが題材として取り上げられている。
光村	「文章を読みやすく書くために」の題材に、理科クラブ、クスノキの葉、アオスジアゲハが取り上げられている。
日文	地球環境を守るための取り組みが書かれたレポートが教材として示されている。
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	伝統と文化を尊重する態度を養う教材として「書いて味わおう」が示されている。
学図	「硬筆に生かそう」において、俳句や短歌、古典が教材として取り上げられている。
三省堂	6年生の巻頭に、百人一首や絵巻物、木の札に書いた手紙などの資料が掲載されている。
教出	竹取物語や枕草子、短歌や俳句が教材として示されている。
光村	6年の「文字の歴史」では見開きのページを使って写真付の教材が掲載されている。
日文	「世界の文字でありがとう」の教材では、英語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語が示されている。
第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。	
東書	相手意識を持って読みやすく書くことを重視し、相手を思いやる気持ちを大切にすることが示されている。
学図	毛筆学習のあとに「硬筆に生かそう」があり、学んだことを日常生活に生かすよう示されている。
三省堂	「学習を生かそう」では、教科書に書きこむ活動が取り入れられている。
教出	巻末の「はってん」では、次年度に学ぶ文字を紹介し、学びのつながりが示されている。
光村	5、6年の目次のページに「学習の見通しを持とう」が設けられている。
日文	書写の基礎・基本が学習できるように、学習の過程が示され、教材が設けられている。

○学校教育法第30条の内容

第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
東書	学習の課題を発見する「調べよう」や書き方のポイントを確かめる「確かめよう」、応用する力を育てる「ひろげよう」が設けられている。
学図	練習用紙を自作できるようにして、自らの課題にあわせ活動ができる教材が設けられている。
三省堂	各学年のそれぞれの段階に応じた書写の学習が行えるように単元のはじめに、見出しとして目標が示されている。
教出	「書いて伝えよう」では、書写で学習したことを生活や授業の中で生かす用例が示されている。
光村	各学年の「資料」では、手紙やはがき、新聞の書き方などの事項がまとめられている。
日文	毛筆の基本的な筆使いでは、筆の通り道を墨の濃淡と実際の筆の写真を併用して説明がされている。

○学習指導要領の教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。	
東書	各学年の表紙裏面の「身の回りの文字をさがそう」で、さまざまな文字の写真が掲載されている。
学図	4年生の封筒の宛名書きでは、全体のバランス等を踏まえ、文字の大きさの違いを考えて書くことが示されている。
三省堂	「ひろげよう」では、相手意識を持った書き方の表現が示されている。
教出	巻頭の「文字の旅」や「世界のこんにちは」などで、国語に対する関心を高めようとする教材が取り上げられている。
光村	2年の「漢字の書き方」では、整っていない文字を提示し、考えさせる教材が取り上げられている。
日文	1, 2年では、「広がる学び」で、年賀状の書き方の教材が取り上げられている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
東書	「生活に広げよう」では、学習したことを他の教科で生かせるよう紹介している。
学図	5年生では、「メモの取り方」において、文字の書き方や文末の省略などが示されている。
三省堂	「ノートを整理して書こう」では、算数や国語の教科で生かせるよう紹介している。
教出	各学年の「トライあんどチャレンジ」では、教科で生かせる教材を配置している。
光村	巻末の資料で、6年生はエアメールの書き方を掲載している。
日文	国語科の言語活動例に関連付けた「もっと書こう」のコーナーを各学年に配置している。
伝統や文化に関する教育の充実	
東書	3年では、筆職人インタビューが掲載されている。
学図	6年生では、「硬筆に生かそう」で文語詩が掲載されている。
三省堂	6年生では、巻頭に「文字で伝える・文字で伝わる」として、昔の人たちが書いた文字を写真で掲載している。
教出	4年生の「知りたい文字の世界」では、身の回りの筆文字をさがす教材が掲載されている。
光村	4年生の「もっと知りたい」では、紙・すみ・すずりができるまでの過程が写真で紹介されている。
日文	3年以上の巻末のまとめでは、古典を題材にした硬筆教材が取り上げられている。
道徳教育の充実	
東書	手紙やはがきを書く活動では、相手意識をもつ教材が掲載されている。
学図	希望、あこがれ、夢、目標などの言葉が教材として掲載されている。
三省堂	6年生の「寄せ書き」では、グループや学級で取り組む教材が掲載されている。
教出	5年生では世界の「こんにちは」という言葉が教材として掲載されている。
光村	「夜空にきらめく星」「ひこうき雲」「あげは蝶」などの自然を扱った教材が掲載されている。
日文	「もっと書こう」では、「地球温暖化」などの教材が掲載されている。
体験活動の充実	
東書	社会科見学・修学旅行が充実できるように インタビューのメモやしおりの書き方が掲載されている。
学図	学習の場、生活の場において用いることができる教材が掲載されている。
三省堂	教室の掲示や文字の工夫、絵手紙、ポスターなどの取り組みが掲載されている。
教出	学校や町の文字探検、おもちゃ大会の掲示物、自由研究のまとめ方などが掲載されている。
光村	書く速さを意識したインタビューの要点が掲載されている。
日文	けん玉の作り方の説明文、学級新聞の作り方が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)	
東書	毛筆では「思いやり」「手話」「豊かな心」「ふれあい」「固い友情」が教材として示されている。
学図	毛筆では「美しい心」「思いやり」が教材として示されている。
三省堂	「かさこじぞう」「クラス会で保育園交流の準備」などが教材として示されている。
教出	毛筆で「友だち」「美しい心」「友情」「思いやり」が教材として示されている。
光村	「バリアフリー新聞」では、誰もが安心して暮らせる仕組みが示されている。
日文	毛筆では「仲間」「温かい心」「思いやり」「友情」が教材として示されている。
【たくましく生きる力】自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)	
東書	書き初めで「何にでもチャレンジ」「希望」が教材として示されている。
学図	書き初めの教材で「大切な命」「夢の実現」が教材として示されている。
三省堂	「新しい場所には、きっと新しい出会いや発見がある。」という言葉が教材として示されている。
教出	「君たちのしっかりした自己が、科学と技術を支配し、よい方向に持っていくほしい」という言葉が教材として示されている。
光村	「はがきの書き方」において、旅先からの絵はがきや、外国へのエアメールの書き方が示されている。
日文	公共心が育まれるよう、水や電気、ガスの節約の取組を教材として取り上げている。
【社会とかかわる力】社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)	
東書	農業協同組合へのインタビューで米作りの手順が教材として示されている。
学図	「ポスターで伝えよう」の用例で、社会に貢献できる教材を示している。
三省堂	米作りについて秋田県の農協に手紙を書いて教えてもらったことが便せんとはがきの書き方として示されている。
教出	ノートのまとめ方の教材として「米作りの工夫と努力」が示されている。
光村	ノートの書き方の中で社会との関わりの中で必要となる尊敬語と謙譲語を示している。
日文	消防署見学後の「お願いの手紙の書き方」が教材としてしめされている。

3 内容

		東書	学図	三省堂	教出	光村	日文
1・2年	書き順を扱った教材数	31	22	38	40	35	37
	書くときの姿勢に関する教材数	8	2	4	4	2	2
	筆記用具の使い方に関する教材数	9	4	5	7	5	4
	点画の長短や方向、接し方や交わり方に関する教材数	20	10	26	28	28	20
	日常生活との関連を図った教材とその数	7	6	5	6	2	7
3・4年	硬筆を扱った教材数	13	13	11	19	8	17
	毛筆を扱った教材数	22	19	24	21	22	26
	書くときの姿勢に関する教材数	4	4	3	4	4	4
	筆記用具の使い方に関する教材数	7	4	6	4	6	7
	文字の組み立て方や形を整えて書くことに関する教材数	11	11	11	14	10	16
	漢字や仮名の大きさ、配列に関する教材数	6	6	3	10	5	9
	点画の種類、毛筆の筆庄に関する教材数	11	9	12	12	12	12
日常生活との関連を図った教材とその数	7	3	6	10	2	5	
5・6年	硬筆を扱った教材数	12	9	21	17	26	19
	毛筆を扱った教材数	16	16	13	18	13	17
	書くときの姿勢に関する教材数	4	4	4	4	4	4
	目的に応じて筆記具を選ぶことに関する教材数	4	4	1	3	3	2
	文字の大きさや配列、書く速さに関する教材数	10	10	9	20	10	10
	穂先の動きと点画のつながりに関する教材数	10	7	2	5	7	6
	日常生活との関連を図った教材とその数	8	7	10	8	18	10

4 構成・分量・装丁

ページ数	東書			学図			三省堂			教出			光村			日文		
	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年
総ページ数	82	98	98	82	94	86	80	88	88	86	114	98	76	104	96	80	104	104
	278			262			256			298			276			288		
23年度版との比較	+8			+16			-6			+20			+22			-6		

5 表記・表現

模範例の数	東書			学図			三省堂			教出			光村			日文		
	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年
漢字	161	181	116	201	163	53	164	144	67	203	211	167	137	123	113	195	192	154
仮名	101	17	19	115	10	16	159	20	1	170	10	18	99	10	13	157	13	17
漢字仮名交じり	20	34	62	17	25	44	34	41	78	44	46	67	12	27	54	42	36	66